

環境学習みえ

2022年12月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行

表紙の人／三重県地球温暖化防止活動推進員「楽しくエコ生活をすすめ隊」のみなさん 2022 No.91

冬

県地球温暖化防止活動推進員



はじめよう!「私の行動のチェンジ」
～脱温暖化社会の実現に向けて～

はじめよう！ 「私の行動のチェンジ」 ～脱温暖化社会の実現に向けて～

2030年までのSDGs達成に向けて『行動の10年』がスタートしています。
三重県環境学習情報センターでは、SDGs達成に向けて環境問題を解決するための環境学習、ESDの普及や情報発信を行っています。令和4年度の「環境学習みえ」では、三重のさまざまな取組をSDGsと関連づけながら取り上げていきます。
今回は三重県地球温暖化防止活動推進センターの事業と地球温暖化防止活動推進員の活動をご紹介します。

監修 一般社団法人 SDGs コミュニティ代表理事 新海洋子

持続可能な開発目標(SDGs)の詳細

- | | |
|--|--|
| 1 貧困をなくそう
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる | 2 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する |
| 3 すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する | 4 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する |
| 5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う | 6 水と衛生
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する | 8 働きがいも経済成長も
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する |
| 9 産業・技術革新の基盤をつくろう
強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る | 10 人や国の不平等をなくそう
国内及び各国間での不平等を是正する |
| 11 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する | 12 持続可能な消費と生産
持続可能な消費生産形態を確保する |
| 13 気候変動に具体的な対策を
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる | 14 海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する |
| 15 陸の豊かさも守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する | 16 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する |
| 17 パートナリシップで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する | |

出典:パンフレット「持続可能な開発目標(SDGs)と日本の取組」(外務省)

国連気候変動枠組条約 第27回締約国会議(COP27)開催

COP27が11月にエジプトで開催されました。
9月28日:エジプトのCOP27議長国は、COP27のビジョンを設定しました。エジプトの外務大臣でCOP27の議長であるシュクリ氏は次のように述べています。

「私たちは、1.5℃を手の届く範囲に維持するためのより野心的な緩和策を採用することに加えて、緩和、適応、資金を含むあらゆる面で気候変動対策を加速しなければなりません。気候変動に関する公約の履行を遅らせたり、気候変動と世界的な戦いで苦勞して得た成果を後回しにしたりする余地はありません。実現のために協力しなければなりません。命と生活を守るために、今すぐ行動する必要があります。」

COP27開催期間にどのような交渉会議が行われたか、重要イベントの情報を得ながら、「わたしたちの問題」として日本、私たちがとるべき「行動」を考えていきましょう。

出典:COP27公式HP(議長国エジプトHP) ▶9/29のニュース「エジプトのCOP27議長国は、国連気候変動会議のビジョンを設定します」

世界気候エネルギー首長誓約とは？

出典:世界気候エネルギー首長誓約 / 日本 Web「首長誓約とは」

「世界気候エネルギー首長誓約」(以下「世界首長誓約」という)は、持続可能なエネルギーの推進、温室効果ガスの国の目標以上の削減、気候変動の影響への適応に取り組むことにより、持続可能でレジリエント(強靭)な地域づくりを目指し、同時に、パリ協定の目標の達成に地域から貢献しようとする自治体の首長が、その旨を誓約し、そのための行動計画を策定した上で、具体的な取組を積極的に進めていく国際的な仕組みです。

世界の142ヶ国11,700を超える自治体(2022年1月時点)、日本では39の自治体(2022年11月時点)が「世界首長誓約」に誓約しています。

三重県では今年9月に鈴鹿市の末松市長が署名しました。

今回、取材したのは！

三重県地球温暖化防止活動推進センター

一般財団法人
三重県環境保全事業団 MEC

—— 出前講座を受付しています ——
地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣しています。三重県内の学校や公民館、市民グループ、企業等、どなたでもお申込みできます。

お問合せ先
津市河芸町上野3258番地
一般財団法人 三重県環境保全事業団 2F
WEB: <https://www.mec.or.jp/index.php/ondan/>
TEL: 059-245-7517



事務局
 事務局長 藤原 洋太郎 さん
 事務局長 小幡 久美 さん
 事務局長 森岡 智美 さん

「2030年のあるべき姿」にむけて 三重県地球温暖化防止活動推進センターの活動は どの目標につながっている？

地球温暖化による「気候変動に具体的な対策」をうつ

地球温暖化を改善するために

地球温暖化防止の重要性について普及啓発

センターが中心となり、行政・事業者・県民との
パートナーシップで地球温暖化防止活動を進める



三重県地球温暖化防止活動推進センターって どんなことをしているの？

「地球温暖化対策の推進に関する法律」により、平成16年に三重県地球温暖化防止活動推進センターが開設されました。現在は、一般財団法人三重県環境保全事業団が三重県から指定を受け、運営しています。

三重県地球温暖化防止活動推進センター（以下、センター）は、さまざまな機関と連携しながら、三重県において地球温暖化の現状と地球温暖化対策の重要性について、啓発・広報活動を行っています。また地球温暖化防止活動推進員や民間団体の活動を支援するのもセンターの役割のひとつです。

「地球温暖化防止活動推進員（以下、推進員）」は、地域（市町）において温暖化防止活動を推進することを目的に公募され、2022年度は82名の推進員が登録しています。年齢は19歳から88歳までと幅広く、15年以上継続している推進員が16名います。県から委嘱された推進員は、センターを通して講師として派遣され、各地で講座を実施しています。講座は省エネ、ごみの減量化、森林保全、リサイクル工作など、それぞれの推進員の得意分野を活かした内容です。

地域で活躍する推進員の中から、今回は藤川推進員と、尾関推進員のグループの活動をご紹介します。



推進員の活動紹介①

推進員 藤川 和彦さん（玉城町）

藤川さんは、推進員として活動して13年目です。玉城町主催の夏休み子ども体験・見学ツアーで、小学生を対象にした環境学習を毎年行ったり、県内のさまざまな場所へ出向き、リサイクル工作等の講座を行ったりしています。

藤川さんを講師に迎えた三重県環境学習情報センターの講座を紹介します。

1

夏休み子ども環境講座

「竹の水鉄砲を作ってあそぼう」



▲地元の玉城町の竹林から伐採した竹を活用しています。

夏休みに子どもたちと電気を使わない昔ながらの遊び「竹の水鉄砲」を作りました。

藤川さんのアイデア溢れる講座では、「環境」×「工作」（自然素材を使った環境にいいモノづくり）を通して、子どもたちにその工夫と楽しさを伝えました。

2

指導者養成スキルアップ講座

「旬の野菜を食べてみれば…」

野菜ソムリエの資格を持つ藤川さんに、「旬の野菜」をテーマにその効能や、旬産旬消・地産地消と地球温暖化の関わりについてお話いただきました。

旬の野菜って？

出典：農林水産省「学ばう！日本と世界の食べ物」Web

「旬」とは自然の中でふつうに育てた野菜や果物がとれる季節や、魚がたくさんとれる季節のことです。食べ物によってその時期は違いますが、いちばんおいしく栄養もたっぷりです。

旬の野菜と地球温暖化 どんな関係があるの？① ハウス栽培と輸送

一年中、同じ野菜や果物が手に入るスーパー

夏が旬のキュウリですが、どの時期でも購入できることが当たり前になっています。夏野菜を冬場に育てようとするとハウス内の温度を維持するためにたくさんの熱エネルギーが必要になります。ハウス内の省エネ対策や化石燃料を使用しない技術の普及促進が期待されます。

地産地消

輸送距離が少ないということは輸送にかかるエネルギーが減り、CO₂排出量が少なくなることになります。地元で生産されたものを地元で消費する、地産地消。買い物をするときどこで生産されたものかチェックしてみましょう。ちょっとした選択が地球温暖化防止につながります。



旬の野菜と地球温暖化 どんな関係があるの？② 食品ロス

規格外の野菜や果物が廃棄される

スーパーには規格に合う農産物が出荷され並びます。規格に合わない農産物はジュースやカット野菜の製造に利用されますが、多くは廃棄されているのも現実です。

規格外の農産物等を生産者から直接購入できる通販サイトもあります。こうしたサービスを利用すれば廃棄を減らすことになります。



家庭でも捨てられやすい食材 第2位は「野菜」

出典：消費者庁「平成29年度 徳島県における食品ロス削減に関する実証事業の結果」

野菜類は水分を含んでいるため、焼却処分に多くのエネルギーを必要とします。傷まないように保存の仕方を考え、調理で野菜くずをなるべく出さないように切り方を工夫することも大切です。



旬の野菜をおいしく、残さず食べよう！

旬産旬消

食品ロスを減らす

地産地消



目標13（気候変動）

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

地元で採れた旬の野菜を食べることや、食品ロスを減らすことは、「気候変動」対策に結びつく、家庭でできるSDGsの取組です。

指導者養成スキルアップ講座

もっと知りたい人は

「旬の野菜を食べてみれば…」YouTube配信します！

2023年1月9日（月・祝）～1月31日（火）

申込方法はP7.センターNEWSをご覧ください。

●藤川さんにインタビュー！

地球温暖化防止活動推進員として「脱温暖化社会の実現」に向けて今後、どのような活動をしたいですか？



今まで行ってきた子どもに向けた活動を続けていきたいです。子どもは子どもなりに保護者は保護者なりに、一緒に考える場をつくり、身近なものを通じて気づき、行動を起こしてもらえることを提供していきたいと思っています。気づいたことをそれぞれが自分のことと考え、行動していくことが必要です。

家庭にあるもの（例えば牛乳パック、ペットボトルのキャップ）を使って、いろいろな遊べる「電気を使わないおもちゃ作り」もそのひとつです。家庭で食べる野菜にしても、見方を変えれば温暖化防止のためのひとつの方法となります。

このように身近なちょっとした行動が温暖化防止につながることを、コツコツと説明していきたいです。

令和5年度

地球温暖化防止活動 推進員を 募集します!

応募資格

令和5年4月1日時点で満年齢18歳以上で、県内に居住、勤務または在学して、**地球温暖化防止活動に熱意をお持ちの方**

任期

令和5年4月1日～令和8年3月31日
(3年間)

募集期間

令和5年1月6日(金)から
令和5年2月3日(金)まで

※応募方法等については、三重県地球温暖化防止活動推進センターまでお問合せください

事務局から 推進員のみなさんへ メッセージ

現在、地球温暖化が進んでいるのは、私たち人間の活動が影響しています。私たちの活動で温暖化が進んでしまった今、私たちの手で抑えていかなくてはなりません。

三重県地球温暖化防止活動推進員の皆さんには、地球温暖化の現状をはじめ、私たちができる地球温暖化対策や取組を県民のみなさんと共に推進してほしいです。

さらに知りたい! 気候変動適応ってなに?

三重県環境保全事業団には地球温暖化防止活動推進センターと気候変動適応センターがあります。COP27の優先課題にもあるように「適応策」が非常に重要です。

三重県気候変動適応センター

地域における気候変動影響と適応に関する情報収集、整理、分析等を行っています。

Web <http://lccac-mie.org/>

日本の取り組み、 世界の動向を知る

全国地球温暖化防止活動 推進センター(JCCCA)

Web <https://www.jccca.org/>

脱炭素に向けて 私たちにできること



脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。「ゼロカーボンアクション30」にできることから取り組んでみましょう!

環境省のWebにて
具体的なアクションを紹介しています!
<https://ondankataisaku.env.go.jp/cool>

「エコ診断」で 我が家の生活を見直そう!

尾関さんは推進員としてこれまで、個人で活動してきましたが、イベントへの出展を機に、「楽しくエコ生活をすすめ隊」を結成しました。現在は8名の推進員と協力員で活動しています。

毎月第4土曜日、「みえのこども応援プロジェクト よっかいちステーション」のイベントに出展し、「COOL CHOICEの啓発普及活動」を行い、家庭からのCO₂排出量およびエコライフの取り組み度をチェックする「エコ診断」を実施しています。簡単なアンケートに答えると「エコライフ診断書」がもらえ、推進員が参加された方に省エネライフについてアドバイスします。また子どもを対象にしたリサイクル工作も体験できるので、ぜひ参加してください。



「エコ診断」 してみませんか?

光熱費(電気・水道・ガス)や灯油・ガソリンの月額(1年の平均)がわかるものがあるとより詳しい診断結果がでますよ!

毎月第4土曜日開催 13:00~15:30

次回予定: 1月28日(土)/2月25日(土)/3月25日(土) ※12月は開催なし
会場: トナリエ四日市4F ふれあい広場(四日市市安島1-3-31)

三重県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ

脱炭素経営セミナー

「事業者の脱炭素経営入門」 参加者募集

オンライン開催

日時: 2023年1月24日(火)

15:30~16:30

講師: 公益財団法人

地球環境戦略研究機関(IGES)

松尾 雄介 氏

受講料: 無料

お申込みはこちら



「みえ環境フェア2022」 入場無料! 「COOL CHOICE:カーボンニュートラルの 実現に向けて、未来のために、今選ぼう!!」

日時: 2022年12月11日(日)

10:00~15:00

会場: メッセウイング・みえ
(津市北河路町19-1)

「エコカーフェア」、
「もったいない市」、
子ども向け自然工作など。

※詳細は Web をご覧ください!



気候変動は「私たち」の問題です。

今回取材をした推進員のお二人は、「自分にできる」地球温暖化防止活動を実践されていました。藤川さんは「曲がったキュウリでもいいよつていう人もいます。規格外といわれる野菜が流通し、近くの農家が出荷できるような、いろいろな形や大きさの野菜が並ぶスーパーがあってもいいのでは」と日々の食料選びの観点から話されました。尾関さんは、個人の取組だけでなく、地域で仲間をつくり、継続的にイベントに出展し、新たな「伝える」活動を展開しています。

気候変動と耳にすると、国・企業の問題であり、政府が何とかしてくれる、誰かが解決してくれる、自分には遠い問題である、と思ってしまう「私」がいます。決してそうではありません。この問題は、「私」の暮らしのなかで、地域や三重で「行動」を積み重ねていくこと、企業や自治体の取組に積極的に参加していくことが欠かせません。

「脱温暖化社会の実現」が求められる今、実現のために、どのように社会や経済の仕組みを変えていくか。様々な場面での大転換、社会を構成する私たちの意識や価値観を大きく変えることが必須です。忘れてはいけないことは、私、仲間、地域、日本、世界がつながりあっている、この大転換を可能にすること、そしてそこには「私の行動のチェンジ」が必要なことです。脱温暖化につながる私たちのさまざまなアイデアが地域や社会を動かしていく、一歩一歩、どのように行動していくか、一緒に見いだしていきたいと思います。

写真提供 三重県地球温暖化防止活動推進センター

